

道徳科学習指導案

指導者 T1 福原 栄治
T2 森 憂馬

- 1 日時 令和元年11月21日(木) 第5校時
- 2 学年 第3学年 (22名)
- 3 主題名 規則の意義とは (C 遵法精神, 公德心 関連項目 B 思いやり, 感謝)
- 4 ねらい 二通の手紙を受け取ったときの元さんの思いを考へることを通して, 法や決まりについての意義を多面的・多角的に理解し, 社会の秩序と規則を高めていこうとする道徳的実践意欲を培う。
- 5 教材名 「二通の手紙」 (出典:「私たちの道徳 中学校」 文部科学省)
- 6 主題設定の理由

〔主題観〕

本主題は, 内容項目C「主として集団や社会との関わりに関する事」の「遵法精神, 公德心」に基づくものである。これは「法やきまりの意義を理解し, それらを進んで守るとともに, そのよりよい在り方について考へ, 自他の権利を大切に, 義務を果たして, 規律ある安定した社会の実現に努めること」という内容である。

中学3年生ともなると, 世の中には多くの法やきまりが存在することも分かってきている。しかし, ややもすると自分本位, 自己の集団本位の判断になりがちである。明るく住みよい社会の実現のために, 法や規則の意義とその背景までを深く掘り下げて考へることによって, 積極的に法や規則を遵守し, よりよい社会をつくっていこうとする実践意欲を育成したいと考へ, 本主題を設定した。

〔生徒観〕

(略)

〔指導観〕

動物園の入園係である元さんは, 動物園の規則を知りながら姉弟の願いを叶えさせてやりたいという思いから, 二人の入園を許可したことで, そのために多くの人に迷惑をかけてしまう。後日, 姉弟の母親からは感謝の手紙をもらうが, 一方で懲戒処分の通知ももらう。二通の手紙を手にした元さんは社会における人間としての生き方について改めて考へる機会を得た。

本教材は, 心の葛藤を引き起こす内容であり, 情け深く人間味あふれる主人公の行動は, 心情的には十分理解できるものの, 規則の意義や公私との関わりや自他の権利と義務について考へを深めることができる教材である。

指導に当たっては, 次の6点に留意する。

- ① 導入で自分の日常について聞く中で, きまりについての自己の課題意識を持たせる。また, 導入を比較的シンプルにして, 深く踏み込まず展開以後の内容について考へる時間をしっかりと取る。
- ② 教材文が長いので, 事前に教材文を読ませておき, 授業ではその内容を確認する程度にとどめ, 考へる時間を確保する。
- ③ 展開の初めに, 元さんの行動について「アリ(共感できる), ナシ(共感できない)」を問い, 一人一人に自分の意見を持たせ, 全員が参加できるようにする。
- ④ 他者の意見に触れることができるようにグループの形で授業を行い, 適宜グループで意見交流する機会を設定する。
- ⑤ 展開では, 元さんに同情的な意見が多く出てくると思われるが, 「もし子供が池に落ちて, 事故になったら誰の責任になるか。」と補助発問を投げかけるとともに, 「元さん自身は姉弟を入園

させたことを良かったと思っているのか。」と問い返しをする。「どうして元さんは、晴れ晴れとした顔で職場を去ることができたのか。」とさらに問い返し、規則やルールの大切さを考えさせていく。

- ⑥ 終末では、振り返りの視点を示すことで、本時の学習を振り返り、自分の生活に生かすことができるようにする。

7 準備物 場面絵，中心発問やキーワードのカード，ワークシート，ネームプレート

8 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と予想される生徒の心の動き (○：主な発問，◎：中心発問)	指導形態		○指導上の留意点 ☆評価の観点
			T 1	T 2	
導入	1 自分の日常を想起し，課題意識を持つ。	○ 身の周りのルールってどんなものがあるだろう。 ・校則（服装など）・法律・スポーツ	発問 机間指導	板書 机間指導	○ 生徒から意見を引き出し，発言しやすい雰囲気を作るとともに課題意識をもたせる。
展開 1	2 教材の内容をつかむ。 3 元さんの処分について考え，ネームプレートで自分の考えを示す。	○ 登場人物はだれでしたか。 ・元さん…動物園の入場係 ・佐々木，山田…同僚 ・姉弟 ・姉妹の母 ○ 元さんの行動についてどう思いますか。 「アリ（共感できる）」 ・理由があった（姉弟がかわいそうだった）から仕方なかったから。 ・姉弟の願いが叶い，母親にも感謝されており，結果的には良かったのだから。 ・元さんの姉弟に対する思いやりから出た行動なので。 「ナシ（共感できない）」 ・動物園の規則を破って入園させたのだからナシ。 ・時刻や保護者同伴の規則を守らず，姉弟が一時行方不明になってしまったことを考えると元さんの行動はナシ。 ・もし事故が起きていたら，解雇では済まないからナシ。	(範読) 発問 机間指導	板書 机間指導	○ 人間関係を確認させるとともに話のあらすじの確認をする。 ○ ネームプレートを黒板に貼ることで自分の意見を明確にさせるとともに他者の意見も知り，さらに納得できるか，できないかについての度合も明確にさせる。 ○ グループでの学び合いを仕組み，他者との意見交流する場を設定する。また，他の人の意見を参考に多面的に考えて，主張に変化があっても良いことを伝える。 【補助発問】 ・元さんの処分について，納得できますか。

<p>展開 2</p>	<p>4 元さんの心情やきまりの大切さについてグループや全体の学び合いを通して理解を深める。</p>	<p>◎ 元さんが「はればれとした顔」で職場を去ったのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がいなくても、この動物園はこれからも大丈夫だと思った。 ・姉弟の母から感謝の手紙もらったから→○問い返し発問：「二通の手紙のおかげとあるが、解雇処分の手紙のおかげとは。」 ・改めて気づかされたことがあったから→○問い返し発問：気づいたことは何ですか。 ・解雇処分に納得できたから→○問い返し発問：「なぜ、納得できたのか。」 ・新たな出発ができそうだから→○問い返し発問：「新たな出発とは。」 ・どんな規則にも、意味や理由があると気付いたから→○問い返し発問：「規則にはどんな意味があるか。」 	<p>発問 机間指導</p>	<p>机間指導 板書 机間指導</p>	<p>○ グループでの学び合いを仕組み、元さんの心情に迫る。</p> <p>○ 学び合いの中で、規則の意義と大切さや社会(園)は規則で守られていることなどに気付いていけるように、意図的指名を行う。</p> <p>【補助発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則を作った人はどんな意図で作ったのでしょうか。
<p>終末</p>	<p>5 振り返りをする。</p>	<p>○ この時間に感じたこと、考えたことを自分たちの生活を振り返りながら書いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを考えた行動であっても、きまりを破るのは良くない。なぜきまりがあるのかを考えて行動しようと思う。 ・僕も元さんのように入れてあげられるかもしれない。でも、やはり大きな事故や事件になると、その人達を危険にさらしてしまうから、やはりきまりは守ろうと思う。 	<p>発問</p>	<p>机間指導</p>	<p>○ 振り返りの時間をしっかり確保し、本時の学びを整理させる。</p> <p>☆ 二通の手紙を受け取ったときの元さんの気持ちに共感しつつ、その変化について考えることを通して、法やきまりが存在する意義について多面的・多角的に考え、それによって安定した秩序が保たれていることに気づき、これからの生活で自分自身が法やきまりを守っていこうとする意欲を高めることができたか。(見取り・ワークシート)</p>